

こんにちは 新社会党

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊 **新社会**

2015年7月号

発行所：新社会党 発行者：松枝佳宏
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10三辰工業ビル3階
TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963
振替 00140-0-149727 1カ月600円 164円 1部150円 41円

http://www.sinsyakai.or.jp E-mail:horibull@sinsyakai.or.jp

国会は軽視・国民は無視の安倍政治 ブレーキなしの暴走 内閣支持率は急下降

力を合わせ安倍政権打倒へ！

安倍政権の暴走はまだ止まりません。しかし、各新聞社が行う世論調査では内閣支持率は毎回下落を続け、その暴走に陰りが出ています。こうした世論の動向に対し、国会で多数の議席を占める自民・公明与党は安全保障法制(戦争参加法)を憲法59条の「60日条項」を使って衆議院で3分の2以上で再議決をするため、国会会期を95日間も延長することを決めました。

安倍内閣の国会・国民無視、問答無用の暴走を止めるブレーキは一人ひとりの声と運動です。みんなの力を合わせて安倍政権を打倒しましょう。

違憲の反動法案が山盛り
戦争への道と貧困化

7月以降の国会は安倍政権の集団的自衛権行使のための11本の戦争参加法をはじめ、労働法制改悪(残業代ゼロ法案、生涯派遣法案)、国民管理と監視・盗聴社会をつくる通信傍受法を含めた刑事訴訟法改悪案、マインバー法改定案など重要法案が目白押しです。

どれも安倍内閣の「戦争ができる国」づくり、格差と貧困をさらに拡大する違憲・反動立法で絶対に認められませんか。

聞く耳持たずの安倍首相
無視、嘲笑、愚弄

日本の政治を大転換する重要な法案を提出している安倍政権。とりわけ安倍政権の肝である戦争参加法の国会審議では、安倍政権の体質そのものが明らかにあらわになりました。

安倍政権に反対する質問者へは首相は「無視、嘲笑」し、おまけにヤジを飛ばすなど、国会審議が時間稼ぎの場と化しています。

また、様々な分野の学者や研究者の意見を「一つの意見」とし無視、黒を白と言い繕い、多数を少数と言い変える独善ぶりです。

安倍内閣は意のままに何が何でも押し通す独裁的な国会運営をしています。その上、これを後押しする自民党国会議員の質の劣化、軽薄短小さが拍車をかけています。

ペテンの「幸福追求の権利」
真逆の現実が証明

安倍政権は2014年7月の閣議で集団的自衛権の行使容認、武力行使の新3要件を決めました。そのなかで「国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される」場合は武力行使を可能としました。

しかし、現実を見れば、日々の生活や社会で私たちの幸福追求の権利を奪っているのは他ならぬ安倍政権です。沖縄県民の総意を無視した辺野古への新基地建設、原発避難者への半強制的な帰還や被害者への補償打ち切り政策、原発周辺自治体と住民無視の原発再稼働、年収200万円以下の生涯派遣労働の固定化など、安倍政権の政策は国民の生きる権利を奪うものです。力を合わせて安倍政権を打倒しましょう。

だまれ！つぶすぞ！の言論弾圧

安倍自民党の野蛮な会話

背景に「戦争のできる国」づくり

安倍首相を応援する自民党若手議員の勉強会で、言論弾圧を申し合
わせるトンデモ発言が飛び交いました。講師の作家、百田尚樹氏（59歳）
が政権に批判的な「沖縄の2つの新聞社はつぶさなあかん」と煽り、大いに
盛り上がったそうです。会合の内容がスクープされることになれば、それ
こそ「粛々」と報道規制が進んでいるところでした。戦争国家へ突き進むな
か、事態は民主主義の根幹に関わり、議員4人を処分して済む問題では
ありません。

歪んでいるのはどっちだ

勉強会の名称は「文化芸術懇話会」。
政治家や安倍首相が思っているも言
葉に出せない本音を文化人に代弁し
てもらおう場。そこではおよそ文化とは
かけ離れた野蛮な会話が交わされま
した。

○議員「マスコミを懲らしめるには、広
告料収入がなくなるのが一番。日本
を過つ企業に広告料を支払うなんて
とんでもないと経団連などに働きか
けてほしい」

N議員「沖縄タイムスと琉球新報の牙
城の中で、地元沖縄のゆがんだ世論
を正しい方向へ持っていくためにはどの

ようなアクションを起こすか」

百田「本当に沖縄の2つの新聞社はつ
ぶさなあかん」

ついでにマスコミ支配

意にそわない報道に敵意をむきだし
にする安倍政権。批判する報道は歪
んでいると見立て、懲らしめよう、つぶ
してしまえとエスカレートしています。

安倍政権のマスコミ支配は周到かつ執
拗です。NHK会長に、政権に右向け
右の人物を据え、同じ歴史観を共有
する百田氏を経営委員に送り込みま
した。

その一方で、元経産官僚の古賀茂明

氏がテレビ朝日のニュースステーションで
「官邸からバッシングを受けた」と告白
すると、自民党はテレ朝幹部を呼び出
して謝罪させました。

断固ハンタイしましょう

政権中枢は安倍首相のオトモダチで
固められています。沖縄の2紙ばかり
か朝日、毎日、東京をはじめ政権に批
判的なすべての地方紙、メディアをだ
まらせたいというのが本音です。

今回名指しされた『沖縄タイムス』と
『琉球新報』は「言論の自由、表現の自
由を弾圧するかのような動きには断
固として反対する」との共同抗議声明
を出しました。

そのなかで、百田氏のような「短絡的
な発想は極めて危険であり、いずれ全
国のマスコミに向けられる恐れ」がある
と警告しています。

言論弾圧はマスコミを手始めに、やが
て国民一人ひとりの心に食い込んでき
ます。

今、この
ときに断固
ハンタイし
ましょう。



新社会

お問い合わせ先